2026年11月1日

所属団体代表者様

事務連絡-３６０６
兵庫県アーチェリー連盟
理事長　　南　克郎

アーチェリー競技及び練習時の事故防止と弓具の点検について
(注意喚起)

平素より当連盟の活動に格別のご助力、 ご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、連絡によれば兵庫県内のあるクラブでアーチェリーの練習中、行射した瞬間に矢が折れ、折れた矢が押手に刺さり手術を伴う大怪我をすると言う事故が発生しております。

この事故の原因は使用したカーボンアルミ矢のシャフト部側面に何らかの原因でできた傷がありその矢を知らずに使用したため起きたものであると考えられます。

カーボンアルミ矢は性能に優れた矢ですがシャフト部先端部、後端部の割れや側面の傷などがあるとカーボンが裂けたりシャフトが折れたりしてこのような事故につながる恐れがあります。

アーチェリー競技及び練習時の事故は矢が逸れて人に当って怪我をさせたり物を壊したりと言った重大事故も勿論ありますが、弓具は矢を弓の反発力で飛ばしている競技用具であるため弓具そのものにも上記のような重大事故を起こす要因を含んでおります。

11月は全日本アーチェリー連盟が定めるアーチェリー安全月間です。

各団体におかれましてはこの機会に本件を所属員に周知いただくとともに各自の弓具を自主点検させていただき競技や練習が安心して出来るよう格段のご配慮をお願いします。

以上